

就業機会の減少に関する申立書

私は、就業機会の減少に関する関係書類の提出が困難であることから、以下のとおり申立書を提出します。申立する事項について相違ありません。

長岡市長 磯田 達伸 様

令和 7 年 5 月 18 日

フリガナ

ナガオカ タロウ

氏 名

長岡 太郎

生年月日

昭和55年 5月 1日

電話番号

000-0000-0000

これまでの 平均月額収入	200,000 円 ※1
申請月の収入	40,000 円
自己の責に 帰すべき理由 又は自己の都合 によらない 収入の減少の 具体的内容	(例1)〇〇デザイン事務所等を主たる客先とした、フリーイラストレーター —令和7年1月中旬頃から、発注が急減し、2月以降の受注件数は0。 (例2)〇〇タクシー(個人)において約〇年就労。令和7年3月頃から1日 平均の客数が〇人から〇人に激減しており、現在も回復していない。 (例3)〇〇株式会社において登録派遣社員として勤務。令和7年3月か ら客先企業から休業を命じられている(2月の勤務日数18日、3月の勤 務日数6日)
証拠書類の 提出が困難な 理由	(例1)発注元から、電話で業務縮小の説明があったが、契約は業務委託 契約であるため、「就業機会が減少した」ことの証明する書類が存在 しない。 (例2)客数についてのデータを客観的に取得していなかった。 (例3)休業要請は口頭のみで行われたため。

※1 休業等以前の6か月間の平均を目安として算出して下さい。